



2025年5月期 第2四半期（中間期）  
**決算説明資料**

2025年1月9日

## ✓ 2025年5月期 第2四半期（中間期）実績 前年同期比 増収減益

---

- 売上高はアルミ地金市況との連動や商業施設事業での販売増などにより約8億円増収  
国内建設市場の需要減少影響があったものの、アルミ地金市況に連動した売上の増加や商業施設事業における販売額の増加などにより増収。
- 営業利益は欧州子会社における販売構成が変化した影響により約6億円減益  
欧州子会社でのEV向け販売量減少に起因する販売構成の変化による影響を受け減益。

## ✓ 2025年5月期 通期業績予想の修正について

---

- 上期業績の結果に加えて、引き続き国内建設市場の停滞および原材料・資材価格の上昇が想定されることやドイツにおける景気停滞の長期化を受けた国際事業での収益低下などが見込まれることから通期業績を修正
- 配当予想については変更なし

## 業績結果

(億円)

	6か月累計（2024年6月～2024年11月）						
	2025/5期 2Q実績	2024/5期 2Q実績	前年同期比		2025/5期 2Q期初計画	期初計画比	
			増減額	%		増減額	%
売上高	<b>1,822</b>	1,813	+8	+ 0.5%	1,850	▲ 27	▲ 1.5%
営業利益	<b>17</b>	24	▲6	▲ 28.2%	25	▲ 7	▲ 28.8%
営業利益率	<b>1.0%</b>	1.4%	—	▲0.4p	1.4%	—	▲0.4p
経常利益	<b>15</b>	27	▲12	▲ 44.2%	20	▲ 4	▲ 23.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	<b>0</b>	12	▲12	▲ 95.9%	10	▲ 9	▲ 94.7%

## 通期業績予想

(億円)

	2025/5期 通期 業績予想<今回> ※1	2025/5期 通期 業績予想<前回> ※2	増減額	
			増減額	%
売上高	<b>3,570</b>	3,600	▲30	▲ 0.8%
営業利益	<b>30</b>	40	▲10	▲ 25.0%
営業利益率	<b>0.8%</b>	1.1%	—	▲0.3p
経常利益	<b>20</b>	30	▲10	▲ 33.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>2</b>	15	▲13	▲ 86.7%

※1 2025年1月9日公表値  
 ※2 2024年7月11日公表値

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

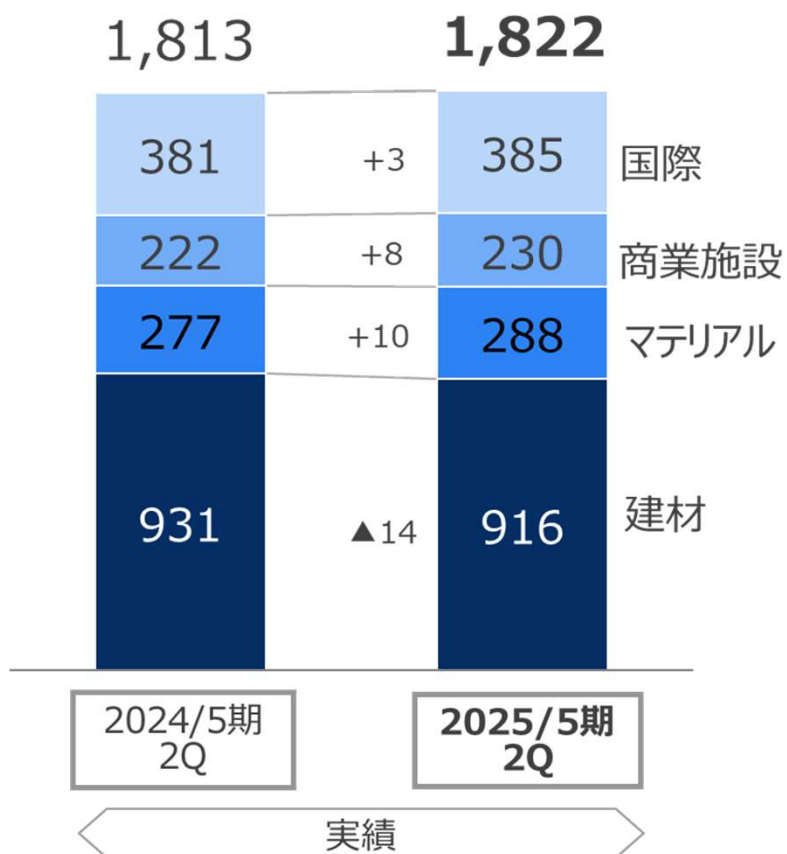
## 配当

**1株当たり 中間配当 12.5円**  
**期末配当 12.5円（予定）**

売上高

1,822 億円

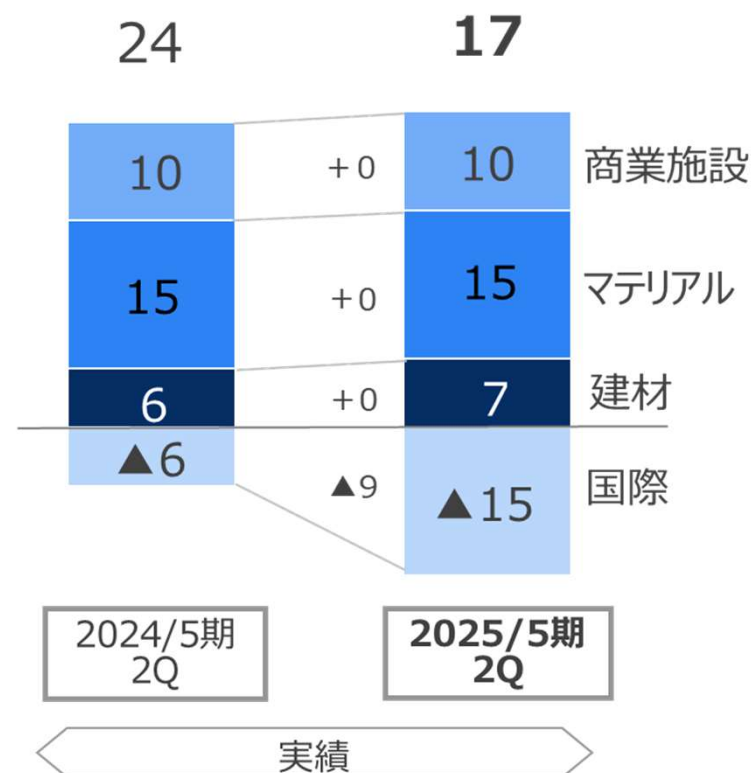
前年同期比 + 8 億円  
(+ 0.5%)



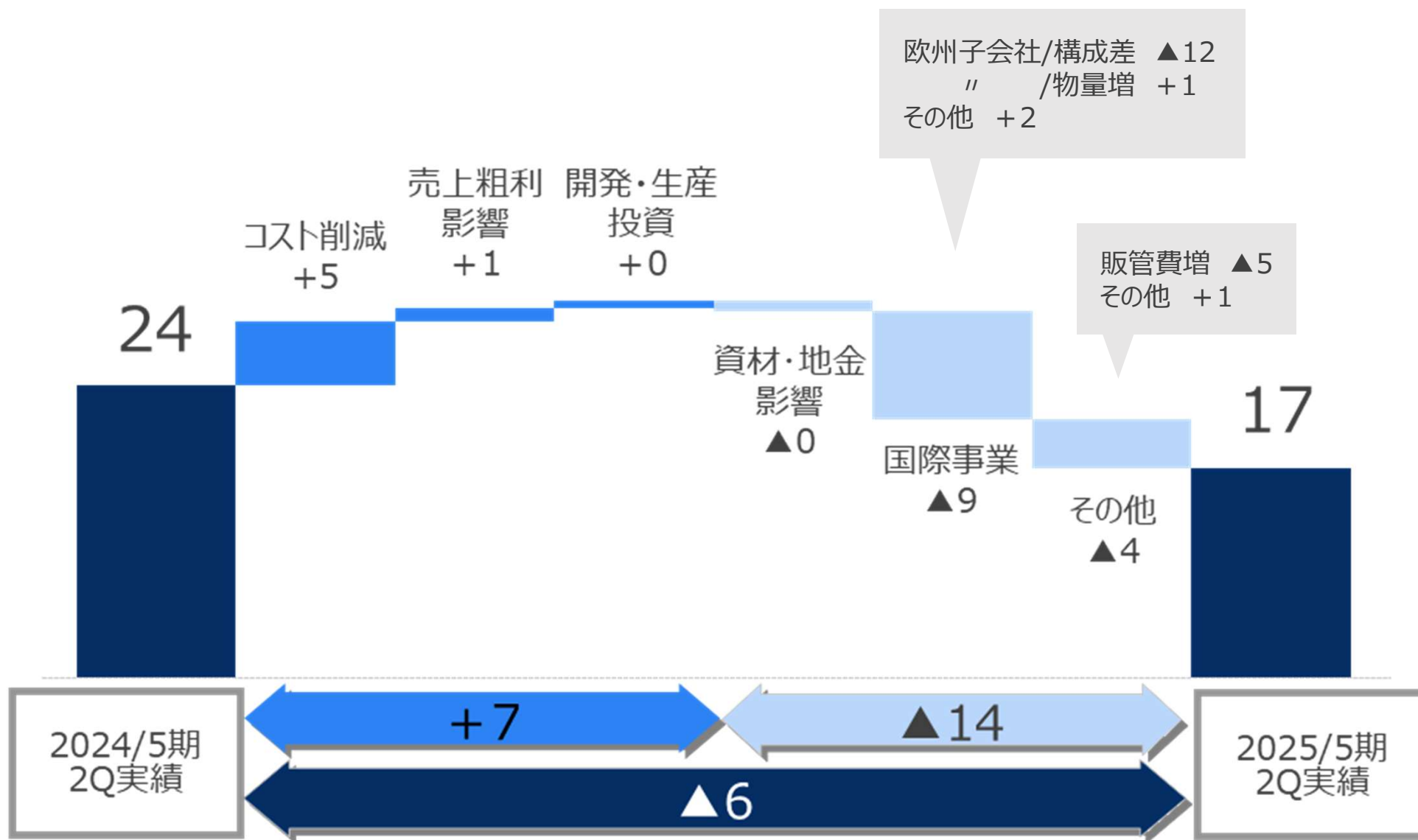
営業利益

17 億円

前年同期比 ▲ 6 億円  
(▲ 28.2%)



※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

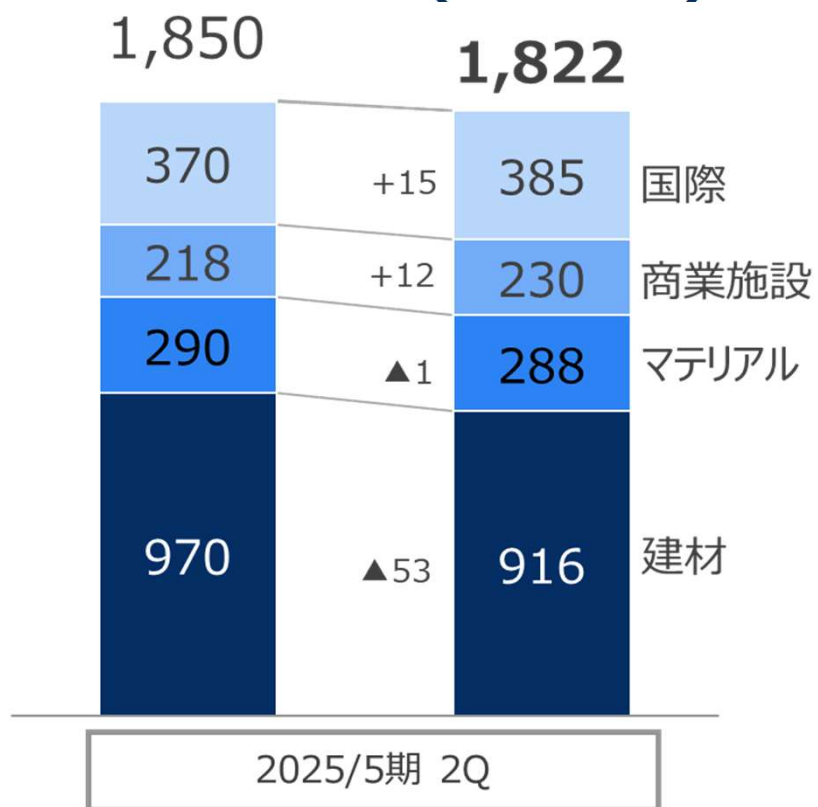


※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約  
 ※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

1,822 億円

期初計画比 ▲ 27 億円  
(▲ 1.5%)

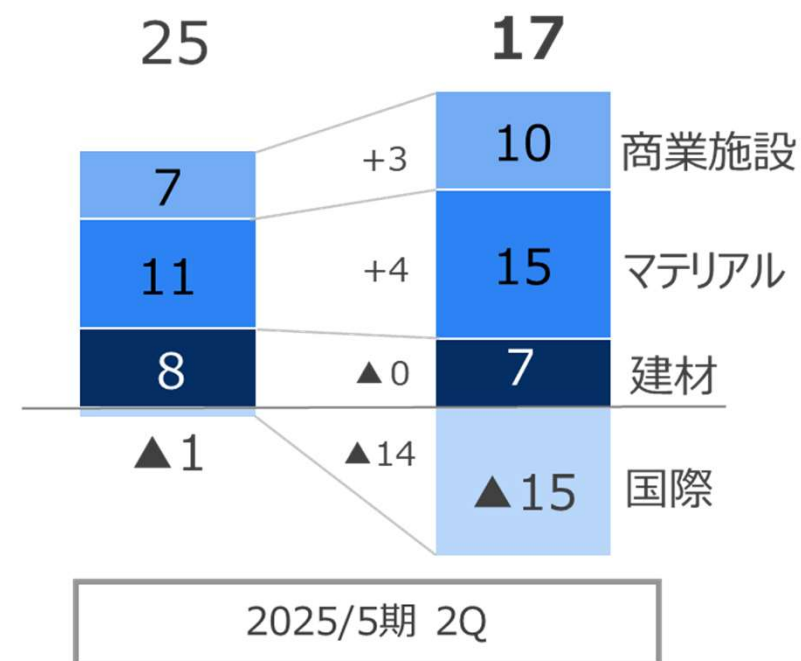


期初計画      実績

営業利益

17 億円

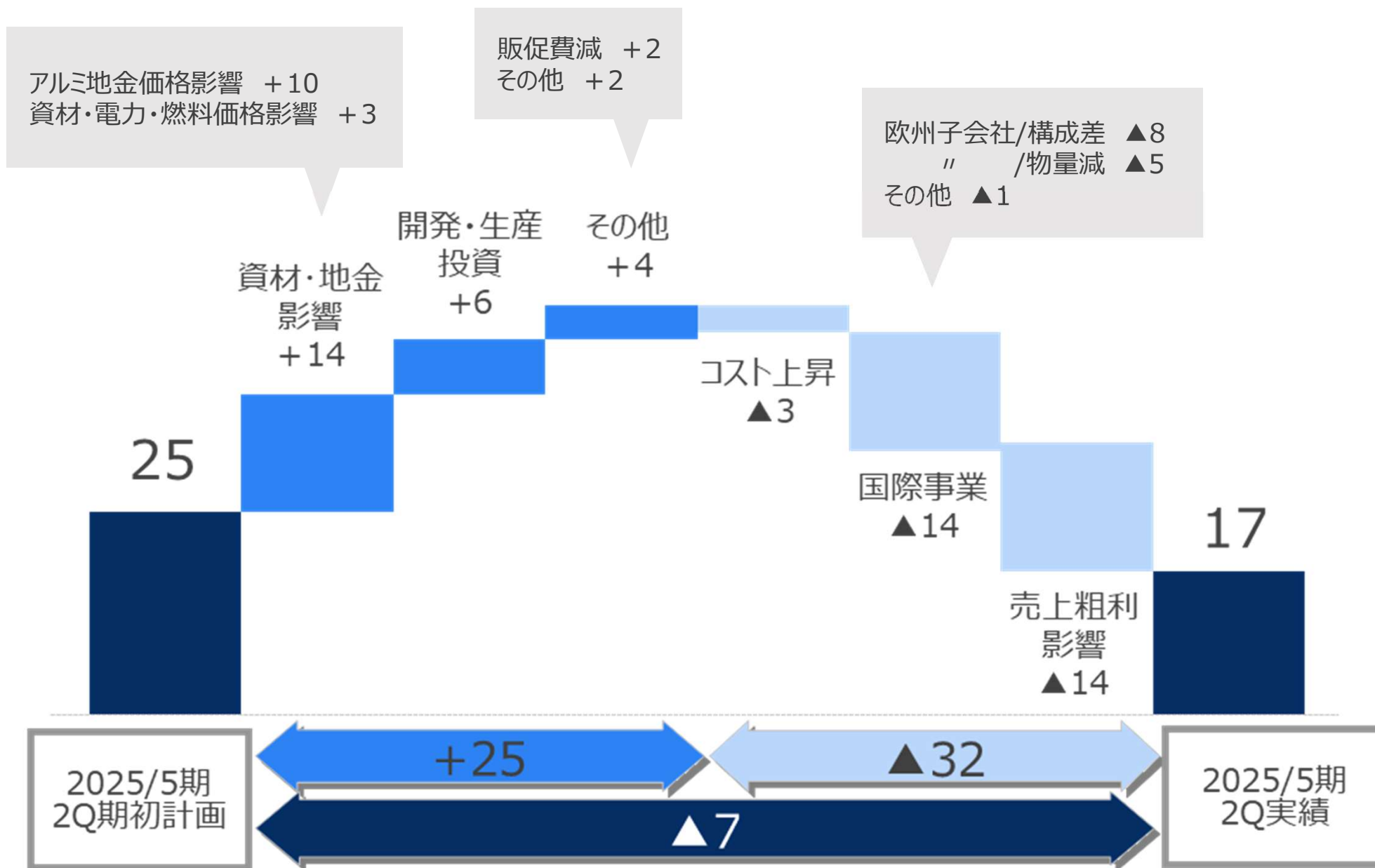
期初計画比 ▲ 7 億円  
(▲ 28.8%)



期初計画      実績

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

# 2025/5期 第2四半期（中間期） 営業利益 増減要因（計画比）



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約  
 ※金額は億円未満切り捨て表示

## 中長期戦略の内容を充実

## 「三協立山 統合報告書2024」公開

当社グループの2023年度（2023年6月～2024年5月）の取り組みをまとめた「三協立山 統合報告書2024」をホームページに公開。

## 主な内容

■ 価値創造の戦略「中期経営計画」

中期経営計画に掲げている基本方針「安定収益を確保し成長軌道に乗せるー収益構造改革と成長への投資ー」のもと、事業ポートフォリオ最適化に向けた事業別戦略について紹介。

■ 価値創造の基盤「人財を未来へつなぐ」

「人財を未来へつなぐ」の実現に向けて、今回は「デジタル人材育成」をテーマに、社員のメッセージとともに当社の取り組みを紹介。



● 統合報告書掲載ページ ➡ [https://www.st-grp.co.jp/ir/group\\_report.html](https://www.st-grp.co.jp/ir/group_report.html)



※化学物質対策、商品開発の基本姿勢、環境経営および環境リスクへの対応などは、昨年同様、当社ホームページの「サステナビリティ」ページで内容更新  
➡ <https://www.st-grp.co.jp/sustainability/index.html>





## カーポート型太陽光パネル架台「エネジアース」 「2024年度 グッドデザイン賞」を受賞 (主催：公益財団法人日本デザイン振興会)

### カーポート型太陽光パネル架台 「エネジアース」



#### ◆グッドデザイン賞評価ポイント

カーポート型太陽光パネル架台「エネジアース」は、三協アルミの技術が結集した製品。アルミ製でメンテナンスフリー、太陽光パネルを屋根材として使用し無駄を省く設計が評価された。さらに、災害時にはカーポートが災害拠点となり、電源の確保が可能である。都市部においても、太陽光発電パネルの下部をカーポートとして活用することで、限られた土地を有効に活用できる点が非常に優れている。この製品は、エネルギー効率と防災機能を両立した画期的なソリューションである。



●ニュースリリース（2024グッドデザイン賞）➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2024news/sa20241016.html>



## JR東海グループと三協立山が『東海道新幹線再生アルミ』を活用した建材を共同開発 三井不動産レジデンシャルの新築物件に初採用

東海旅客鉄道株式会社、三協立山株式会社、ジェイアール東海商事株式会社は、東海道新幹線車両のアルミをリサイクルした建材「Re(リ) ♻️ ALumi(アルミ) T」を共同開発。また、三井不動産レジデンシャル株式会社の新築物件において、「Re ♻️ ALumi T」がサッシとして初採用されることが決定。

### ◆ 「Re ♻️ ALumi T」の特長

- 『東海道新幹線再生アルミ』の高い強度・耐候性・表面処理性を生かした建材
- 新地金※を使用する一般的なアルミ建材と比べ製造時のCO2の排出量を大幅に削減でき、カーボンニュートラルの実現に寄与
- マテリアルリサイクルを通じて、アルミの国内循環比率を向上させることで、サーキュラーエコノミーの実現に寄与

※天然資源から抽出したアルミの原材料

低炭素アルミ建材

# Re ♻️ ALumi T

For Circular Economy with SankyoAlumi

東海道新幹線再生アルミ仕様

(仮称) 文京区向丘1丁目計画

三井不動産レジデンシャルが開発中  
2025年9月完成予定  
共同住宅・店舗のサッシに導入予定



※出典：三井不動産レジデンシャル株式会社

コートヤード・バイ・マリオット京都駅

JR東海グループとマリオット・インターナショナルが開発中  
2026年度完成予定  
客室のサッシに導入予定



※出典：東海旅客鉄道株式会社

● ニュースリリース (Re ♻️ ALumi T) ➡ <https://www.st-grp.co.jp/news/2024news/st20241121.html>



住宅省エネ化への集中的支援事業

「住宅省エネキャンペーン」2025年度も継続決定

2023年度・2024年度と3省（経済産業省、国土交通省、環境省）の連携で行っていた住宅省エネリフォーム支援が、2025年度も「住宅省エネ2025キャンペーン」として継続されることが決定。



住宅省エネ2024キャンペーン

■ リフォーム商品

「NOVARIS（ノバリス）」シリーズ

サッシ：前年同期比  
(2024年6月～11月累計)

売上高 約**160%**



玄関ドア・引戸：前年同期比  
(2024年6月～11月累計)

売上高 約**110%**



住宅省エネ2025キャンペーン

◆ 先進的窓リノベ2025事業

【環境省】 予算 **1,350**億円

対象予定製品（主なもの）

※対象製品は変更になる可能性があります。

- 内窓設置  
・「プラマイクE II」、「プラマイク」
- 外窓交換・ドア交換（カバー工法）  
・「NOVARIS」シリーズ
- 他

◆ 子育てグリーン住宅支援事業

【国土交通省・環境省】 予算 **2,250**億円

対象予定製品（主なもの）

※対象製品は変更になる可能性があります。

- 内窓設置  
・「プラマイクE II」、「プラマイク」
- 外窓・ドア改修  
・「NOVARIS」シリーズ
- 他

リフォーム関連商材のさらなる拡販に向けて、販売および生産体制の強化に努めてまいります。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、当社の断熱性能の高い製品の提供によりCO2排出量削減に貢献してまいります。

※住宅省エネ2025キャンペーンの詳細は、後日三協アルミ社のホームページにてお知らせいたします。

三協アルミ社ホームページ ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/index.html>

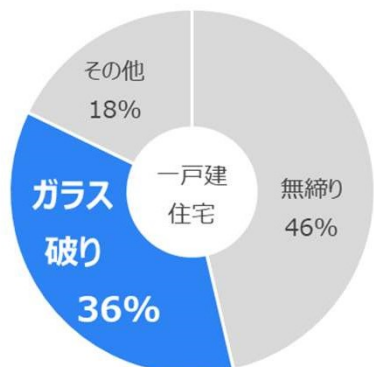


闇バイトの増加で防犯意識向上

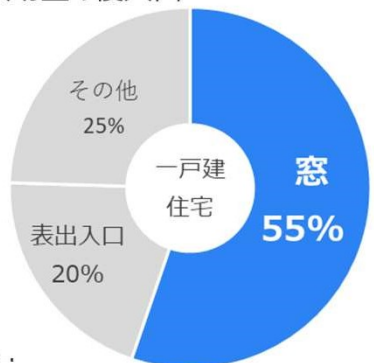
戸建て住宅の防犯対策 窓から始める安全対策

近年、闇バイトによる強盗事件の増加から戸建て住宅の防犯意識が高まりを見せており、一戸建て住宅の侵入口として「窓から侵入」が一番多いことから、窓の防犯対策として重要となる面格子やシャッター関連商品の需要が拡大。

侵入窃盗の侵入手口



侵入窃盗の侵入口



出典：  
住まいる防犯110番（警察庁）  
([https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki26/theme\\_a/a\\_d\\_1.html](https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki26/theme_a/a_d_1.html)) を加工して作成

面格子（防犯建物部品）

単体シャッター（壁付け用）

防犯建物部品（CP部品）※の活用が推奨されており、有効な対策とされる防犯ガラス、面格子、シャッターの取り付けなどのニーズが拡大。

※ 防犯建物部品（CP部品）：官民合同会議に基づいて試験され、侵入に5分以上かかることなどが確認された防犯性の高い建物部品を指す。

- 面格子  
前年同期比  
(2024年10月～11月累計)  
出荷数 約**300%**
- シャッター関連商品  
前年同期比  
(2024年10月～11月累計)  
出荷数 約**150%**

窓の防犯対策だけではなくトータルな防犯プランをご提案し、安全で安心して暮らせる住まいづくりに取り組んでまいります。

● ニュースリリース（戸建て住宅の防犯対策） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2024news/hk20241224.html>

● 住まいる防犯110番 警察庁ホームページより ➡ [https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki26/theme\\_a/a\\_d\\_1.html](https://www.npa.go.jp/safetylife/seianki26/theme_a/a_d_1.html)



## 2025年5月期 上期（2024年6月～11月）商品リリース一覧

## 2024年6月

建材事業 カーポート「FⅡ」両側支持タイプ 発売

建材事業 カーポート型太陽光パネル架台「エネジアース」リファイン

建材事業 「X.style（クロススタイル）」シリーズに門袖 追加



カーポート「FⅡ」両側支持タイプ

## 2024年8月

商業施設事業 新型調剤什器「MEDシリーズ」 発売



大型フェンス  
「フレラインフォルテ 木製格子」

## 2024年9月

建材事業 大型フェンス 「フレラインフォルテ 木製格子」 発売

●ニュースリリース（建材事業／三協アルミ社） ➡ <https://alumi.st-grp.co.jp/news/2024news/news2024.html>



●ニュースリリース（商業施設事業／タテヤマアドバンス社） ➡ <https://advance.st-grp.co.jp/news/>



	対象期間	2022年	2023年	2024年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数	4月-9月	44.3万戸 (0.7%減)	41.5万戸 (6.2%減)	<b>41.2万戸 (0.8%減)</b>
新設住宅着工戸数[持家]	4月-9月	13.2万戸 (10.9%減)	11.9万戸 (10.2%減)	<b>11.3万戸 (4.9%減)</b>
新設住宅着工戸数[貸家]	4月-9月	17.7万戸 (4.3%増)	17.7万戸 (0.3%減)	<b>18.2万戸 (2.7%増)</b>
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積	4月-9月	37.5百万㎡ (9.5%増)	32.3百万㎡ (13.9%減)	<b>30.5百万㎡ (5.6%減)</b>
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く]	6月-11月	15.7万 t (5.3%減)	18.2万 t (15.3%増)	<b>18.0万 t (0.8%減)</b>
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗]	4月-9月	3,124棟 (11.9%増)	2,758棟 (11.7%減)	<b>2,645棟 (4.1%減)</b>
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数	4月-9月	169.1万台 (21.8%増)	198.1万台 (17.2%増)	<b>207.6万台 (4.8%増)</b>
タイ自動車生産台数	4月-9月	88.4万台 (18.5%増)	87.8万台 (0.7%減)	<b>71.4万台 (18.7%減)</b>
【アルミ地金価格平均値】 [日本経済新聞より]	6月-11月	405.9円/kg	389.5円/kg	<b>457.5円/kg</b>

日本アルミニウム協会公表値の集計区分に変更あり。前年と同条件では前年同期比で約5%増と推定。

( ) は前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

## 売上高

	3ヵ月実績			実績累計		
	'24/5期	'25/5期	増減	'24/5期	'25/5期	増減
1Q	449	<b>439</b>	▲10 ▲2.3%			
2Q	481	<b>477</b>	▲4 ▲1.0%	931	<b>916</b>	▲14 ▲1.6%
3Q						
4Q						

- 「住宅省エネ2024キャンペーン」によるリフォーム需要の獲得
- 重点商品の拡販
- 新設住宅着工戸数の減少継続

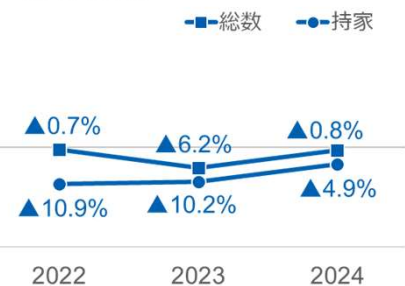
## セグメント利益

	3ヵ月実績			実績累計		
	'24/5期	'25/5期	増減	'24/5期	'25/5期	増減
1Q	▲3	▲4	▲1 -			
2Q	9	<b>12</b>	+2 +21.9%	6	<b>7</b>	+0 +11.2%
3Q						
4Q						

- アルミ地金価格の上昇
- 諸資材価格の高騰
- 収益改善施策

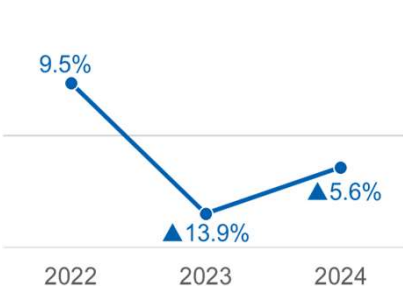
## 事業環境

新設住宅着工戸数  
(前年同期比)



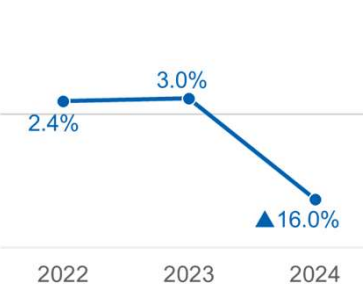
出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物着工床面積  
(前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

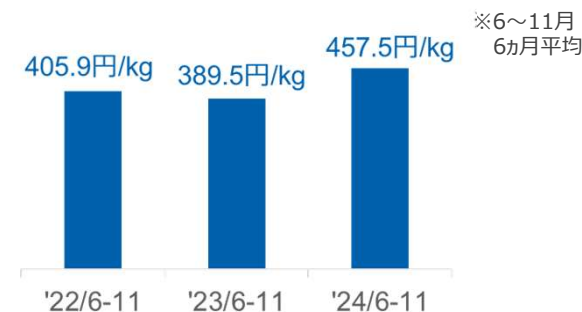
ビル用アルミサッシ販売重量  
(前年同期比)



出典：経済産業省 生産動態統計

アルミ地金価格[日経平均]

※4~9月  
累計



出典：日本経済新聞

※金額は億円未満切り捨て表示

## 売上高

	3ヵ月実績			実績累計		
	'24/5期	'25/5期	増減	'24/5期	'25/5期	増減
1Q	140	<b>138</b>	▲1			
2Q	137	<b>149</b>	+12	277	<b>288</b>	+10
3Q						
4Q						

- 輸送分野の自動車減産影響
- 建材分野の市場低迷
- 一般機械分野の需要回復
- アルミ地金市況に連動した売上の増加

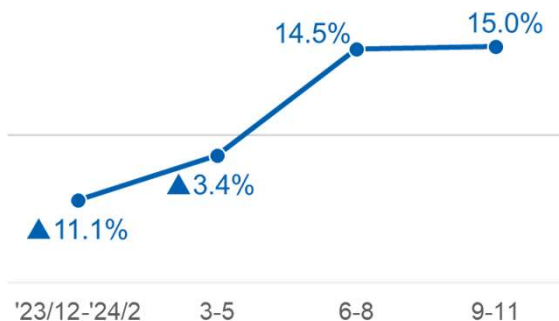
## セグメント利益

	3ヵ月実績			実績累計		
	'24/5期	'25/5期	増減	'24/5期	'25/5期	増減
1Q	4	<b>6</b>	+1			
2Q	10	<b>9</b>	▲0	15	<b>15</b>	+0
3Q						
4Q						

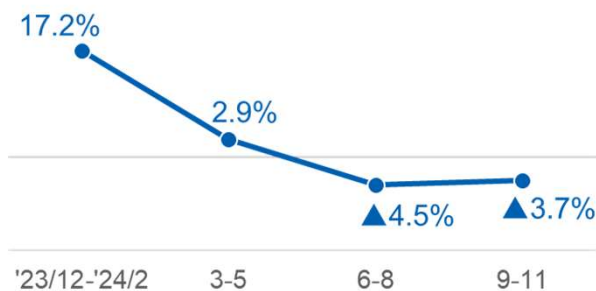
## 事業環境

国内アルミ型材押出重量（前年同期比）

<一般機械>



<自動車>



出典：日本アルミニウム協会統計



※金額は億円未満切り捨て表示

## 売上高

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	97	<b>103</b>	+6	+6.2%				
2Q	124	<b>127</b>	+2	+2.3%	222	<b>230</b>	+8	+4.0%
3Q								
4Q								

- 小売業界における業態の枠を超えた競争の激化やインバウンド需要増加を背景とした新規出店や店舗改装の積極的な投資需要の取り込み

## セグメント利益

	3ヵ月実績				実績累計			
	'24/5期	'25/5期	増減	増減	'24/5期	'25/5期	増減	増減
1Q	2	<b>2</b>	+0	+14.8%				
2Q	7	<b>8</b>	+0	+5.4%	10	<b>10</b>	+0	+7.7%
3Q								
4Q								

- 物流コストの増加
- 売上高の増加
- 価格改定を含めた収益改善施策

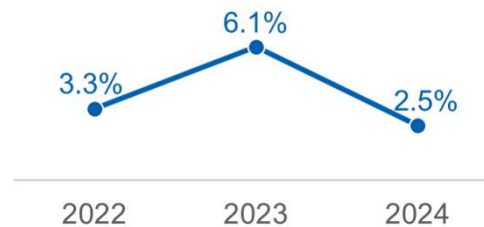
## 事業環境

建築着工棟数[店舗] (前年同期比)



出典：国土交通省 建築着工統計調査報告

小売業販売額 (前年同期比)



出典：経済産業省 商業動態統計調査

※4~9月累計

※金額は億円未満切り捨て表示

## 売上高

	3ヵ月実績			実績累計		
	'24/5期	'25/5期	増減	'24/5期	'25/5期	増減
1Q	196	<b>202</b>	+5 +3.0%			
2Q	184	<b>182</b>	▲2 ▲1.2%	381	<b>385</b>	+3 +1.0%
3Q						
4Q						

- 欧州子会社におけるEV販売台数減少の影響および卸売向けの販売量増加
- タイ子会社における電子機器分野などの伸長
- アルミ地金市況に連動した売上の増加

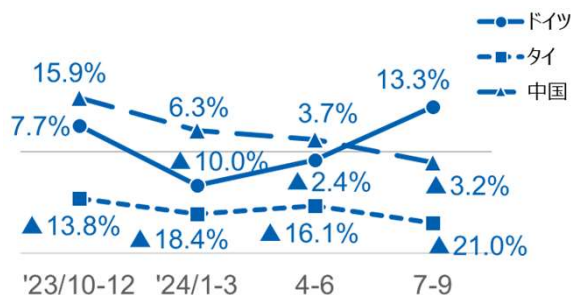
## セグメント利益

	3ヵ月実績			実績累計		
	'24/5期	'25/5期	増減	'24/5期	'25/5期	増減
1Q	2	<b>1</b>	▲1 ▲56.7%			
2Q	▲9	▲ <b>16</b>	▲7 -	▲6	▲ <b>15</b>	▲9 -
3Q						
4Q						

- 欧州子会社における販売構成の変化など

## 事業環境

自動車生産台数（前年同期比）



出典：VDA MARKLINES

ドイツ自動車販売台数およびEV販売台数・シェア



出典：KBA（ドイツ連邦陸運局）

GDP（国内総生産）（前年同期比）



出典：EUROSTAT, NESDC, CEIC

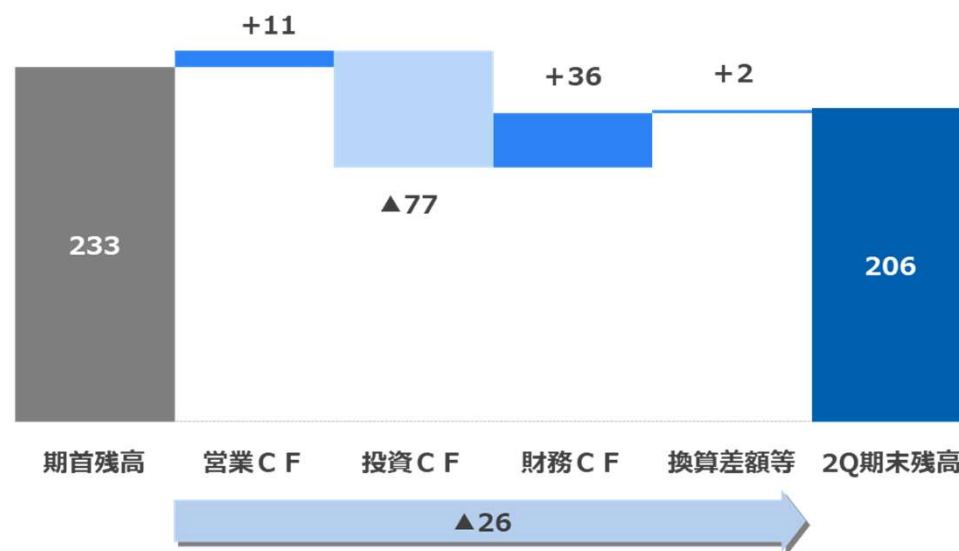
## 貸借対照表

2024/5期		2025/5期 2Q	
流動資産 1,456	流動負債 1,188	流動資産 1,490	流動負債 1,197
	固定負債 716		固定負債 791
固定資産 1,442	純資産 994	固定資産 1,488	純資産 988

	2024/5期 期末	2025/5期 2Q期末	前期末比
総資産	2,899	2,978	78
自己資本	961	954	▲ 6
自己資本比率	33.2%	32.1%	▲ 1.1p
有利子負債	781	823	41
有利子負債比率	81.3%	86.2%	4.9p

※自己資本 : 純資産 - 非支配株主持分  
 自己資本比率 : 自己資本 / 純資産  
 有利子負債 : 短期借入金 + 長期借入金 + 社債  
 有利子負債比率 : 有利子負債額 / 自己資本

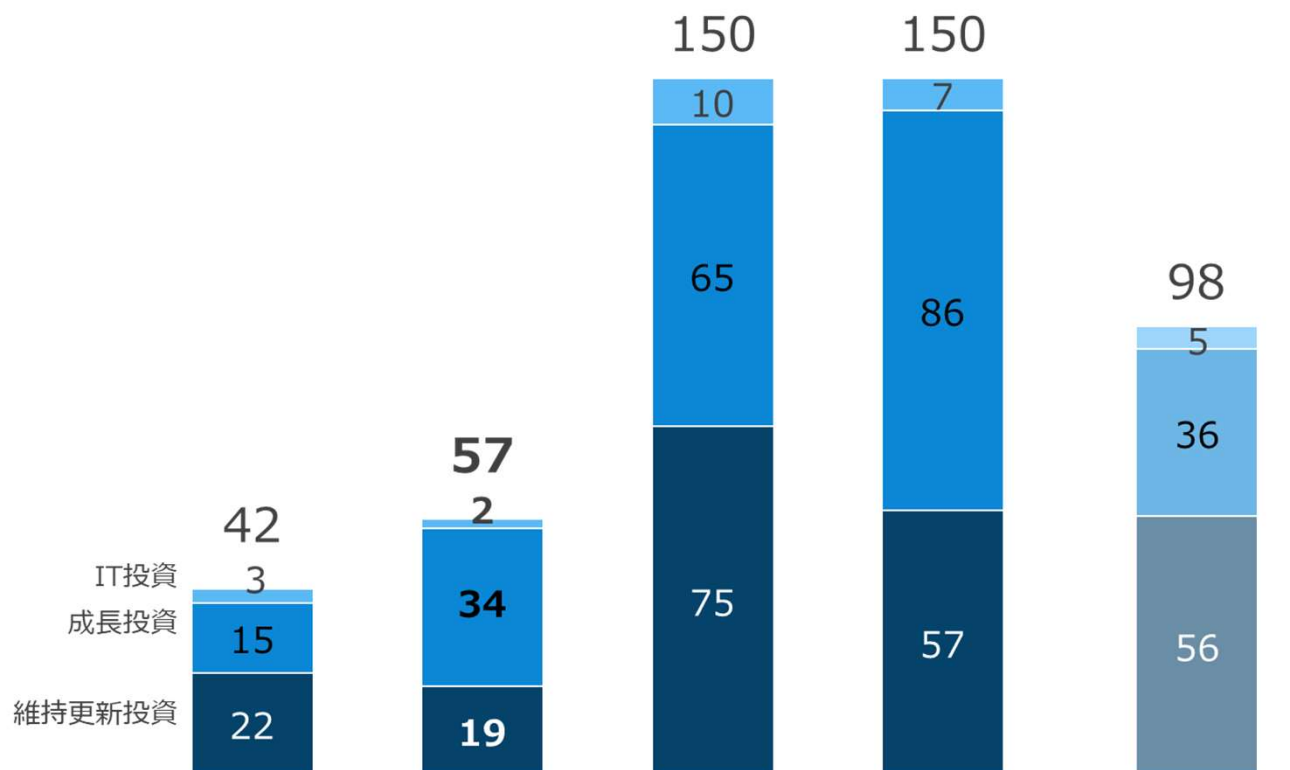
## キャッシュ・フロー



営業CF	11	投資CF	▲ 77	財務CF	36
税金等調整前 中間純利益	12	有形固定資産の 取得による支出	▲70	短期借入金純増減 (▲は減少)	▲52
減価償却費	40	その他	▲7	長期借入れによる 収入	191
売上債権の増減 (▲は増加)	▲43			長期借入金の 返済による支出	▲94
棚卸資産の増減 (▲は増加)	▲26			配当金の支払額	▲3
仕入債務の増減 (▲は減少)	15			その他	▲3
法人税等の支払額	▲7				
その他	21				

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

※金額は億円未満切り捨て表示



【内訳】	2024/5期 2Q実績	2025/5期 2Q実績	2025/5期 期初計画	2025/5期 見直し計画	2024/5期 実績
維持更新投資	22	19	75	57	56
成長投資	15	34	65	86	36
IT投資	3	2	10	7	5
合計	42	57	150	150	98
(うち海外子会社)	(18)	(35)	(47)	(62)	(35)

減価償却費	41	40	84	84	87
-------	----	----	----	----	----

## 連結および持分法の適用範囲

(社)

	2024/5期 期末	2025/5期 2Q期末	前期末比
連結子会社	46	<b>45</b>	▲ 1
持分法適用会社	6	<b>6</b>	—
合計	52	<b>51</b>	▲ 1

## 人員の状況（正社員）

(名)

	2024/5期 期末	2025/5期 2Q期末	前期末比
三協立山	4,822	<b>4,724</b>	▲ 98
連結子会社	5,467	<b>5,392</b>	▲ 75
合計	10,289	<b>10,116</b>	▲ 173

## 計画前提・実績

		期中 平均値	2024/5期 2Q実績	2025/5期 前提 (通期)	2025/5期 2Q実績
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6~11月	389.5円/kg	435.0円/kg	<b>457.5円/kg</b>
為替	ドル	4~9月	141.1円	150.0円	<b>152.8円</b>
	ユーロ	4~9月	153.4円	160.0円	<b>166.0円</b>
	バーツ	4~9月	4.1円	4.0円	<b>4.3円</b>
	元	4~9月	19.7円	21.0円	<b>21.2円</b>

# サステナビリティビジョン2050 Life with Green Technology

～「環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし」を実現する企業グループへ～

## カーボンニュートラルへの挑戦

事業活動に伴う温室効果ガス排出削減と、環境技術で創出する商品・サービスによる温室効果ガス排出削減貢献とのバランスにより、カーボンニュートラルを目指します。

## 資源の循環

循環型社会の実現に向けて、主要原材料の循環使用の促進と、廃棄物の再資源化を推進します。

## 人財を未来へつなぐ

多様性や人権を尊重し人材育成を推進することで活力ある企業風土を創出し、豊かな暮らしを実現する原動力となる「人財」を未来につないでいきます。

## 2030年度目標

### 温室効果ガス排出量

Scope1+2 **50%減** (2017年度比)

Scope3 **25%減** (2022年度比)

対象：三協立山グループ

建材向け  
アルミリサイクル率 **80%**

課題の対応により100%を目指す

### 女性管理職比率

**10%**

Scope1：自社での燃料の使用に伴う直接排出  
Scope2：自社が購入した熱・電力の使用に伴う間接排出  
Scope3：自社の事業活動の上流及び下流のプロセスでの排出

\*1：個別製品ごとの指標を表すものではありません  
\*2：対象とする拠点は、国内鑄造拠点  
\*3：社内の製造工程で生じた端材を含みます

## ■ 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、国内外の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。